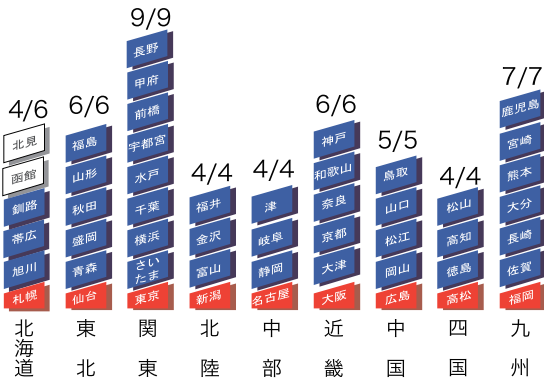


北海道には、高速自動車国道の他、約90,000kmの一般道路があります。一般道路のうち、国道が約7,000km、道道が約12,000km、市町村道が約71,000kmとなっています。高速自動車国道の一部と国道については、北海道開発局が新設、改築、維持、災害復旧などの管理を行っています。

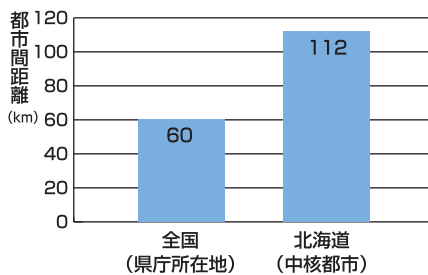
## 高規格道路によるブロック中心都市と県庁所在地等のアクセス状況



◆凡例◆

- ブロック中心都市
  - 県庁等(接続済)
  - 県庁等(未接続)
- (令和3年度末)

## ●都市間距離の比較(北海道/全国)



\*都市間距離は、都市間位置を結ぶ直線距離を平均して算出



## 道路延長の現況

道路種別	道路延長(km)		摘要	
	全国	北海道	路線数	路線
一般道路計	1,218,372	89,887	118,706	路線
一般国道	55,826	6,774	48	路線
都道府県道	129,757	11,896	901	路線
主要地方道	57,891	4,563	163	路線
一般都道府県道	71,866	7,333	738	路線
市町村道	1,032,790	71,218	116,856	路線

注 ※ 道路統計年報2021(令和2年4月1日現在)による。  
※ 高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路及び一般国道の自動車専用道路は一般国道の内数としている。

# 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組事例

地球温暖化防止が重要な政策課題となっている中で、北海道の豊かな自然や地域資源を活かしてグリーン社会の実現を主導していくことが求められています。北海道における2050年カーボンニュートラルに向けた取組を推進し、強靱で持続可能な国土を形成していきます。

### <「道の駅」を活用した次世代自動車普及促進>

- 次世代自動車の普及を促進するため、国・北海道・自治体、管理者と連携し、「道の駅」への急速EV充電施設設置を促進。



▲ドライブ観光中に「道の駅」で充電する次世代自動車(道の駅「もち米の里☆なよろ」)

### <道路照明灯のLED化>

- 道路照明灯をLED化し、設置間隔を広げることにより、消費電力量やCO<sub>2</sub>排出量を削減。



▲国道231号 石狩市内のトンネル

### <i-Construction>

- 建設施工段階において、測位技術・センサー・通信技術等を組み合わせることで施工の効率化を図り、建設機械からのCO<sub>2</sub>排出量を削減。



▲ICT建設機械での切土面の掘削状況

### <道路ネットワーク整備>

- CO<sub>2</sub>削減に大きく寄与する道路ネットワークの整備、渋滞対策等を推進。
- 今後5か年で開通予定の直轄国道におけるCO<sub>2</sub>排出削減効果は約6万t/年。

### <自動運転・MaaS等を活用した取組を支援>

- 道の駅を拠点とした自動運転の検討やMaaSの実証実験等、関係機関と連携して社会実装への取組を支援。

### <環境家計簿によるCO<sub>2</sub>削減量の見える化>

- 受注者と発注者が協働でCO<sub>2</sub>排出量を「見える化」する環境家計簿に取り組むことで、工事現場におけるCO<sub>2</sub>削減活動の促進及びCO<sub>2</sub>削減意識の向上を図る。

### <道路排雪を冷熱エネルギーとして利活用>

- 冬に国道の排雪を集積しておき、夏に周辺施設(米粉貯蔵施設、養護老人ホーム等)の冷熱エネルギーとして利活用を推進。



▲雪の直接運搬による冷熱の利用

▲米粉貯蔵施設

▲沼田町生涯学習総合センター